

飯伊地区 産業経済動向

No.556 2025/7
(7.8.25 発行)



飯田信用金庫

IIDA SHINKIN BANK

しんきん南信州地域研究所

<https://www.iidashinkin.co.jp/>

〒395-0044 飯田市本町 1-2

TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132



Contents

表紙 写真：真夏の青空の下に広がる一面のひまわり（下伊那郡平谷村・8月6日撮影）	P 1
製造業 景況DIは前月からやや改善も、全体として不透明感が強い印象	P 2
建設業 7月の公共工事は前年比増加。6月の住宅着工は前年比49%減少	P 4
商業・サービス業 景況DIは前月から改善しプラス圏に。飲食業で景況感好転との声が多い	P 5
しんきんリニア・三遠南信対策室です 「第二次 リニア中央新幹線開通に係る報告書」を発表 ～リニア開業が延期となった今、取り組むべきこととは～	P 6
飯伊地区全産業景況DIの推移・主要経済指標	P 10

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ（<https://www.iidashinkin.co.jp/>）に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともにしています。



100%植物性インキ
[アクリル系100]を使用しました。

再生紙を
使用しています

地区内製造業の景況判断指数

概況 景況DIは前月からやや改善も、全体として不透明感が強い印象

当月の製造業の業況判断指数（DI）はマイナス5.9で、前月から9.9ポイント上昇。翌月予測はマイナス8.6で、前月から11.3ポイント低下。当月は、景況感好転と悪化の声が拮抗しており、結果的に指数は前月からやや改善した。業種別でみても好転と悪化の声は拮抗していたが、好転の声が多かった業種はなく、全体として不透明感が強い印象。先行きについても同様で、はっきりとした回復傾向を示す業種はなかった。米国関税の影響については、現時点では影響があるという声と、影響はないという声が拮抗しており、今後も状況を注視したい（米国関税に関する調査結果については、次月以降に詳報）。

主な業種の動き

●電気・精密・光学

- ☑受注、販売… 販売、受注とも前月比は業者により増減分かれるが、販売は減少の声がやや多い。先行きについては増加見込みと減少見込みの声が拮抗。
- ☑景況感…… 当月、先行きともに業者により見方が分かれるが、先行きは悪化を見込む声がやや多い。

〔企業からのコメント〕

- ・「受注はトランプ関税ショックの前の水準まで戻ってきている。先々も良くなりそうな話が少しだけ聞こえてきた」「月次稼働日の影響もあり前月比減少。民需関係に関しては受注が徐々に動きだしているものの、不透明感が続いている」
- ・景気自体は良いとは思えないが、最低賃金大幅引き上げの答申がされたこともあり、取引先と価格見直しの話し合いを始めている。

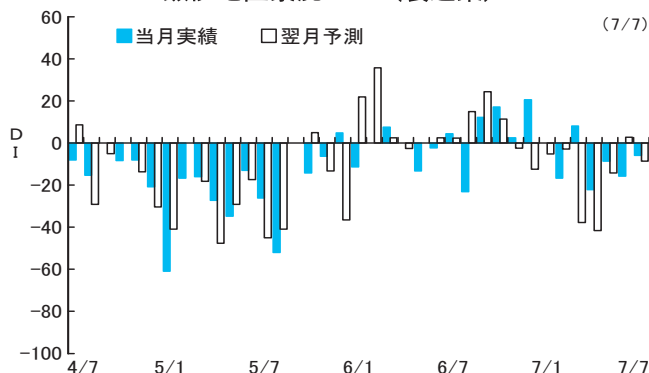
●半導体、液晶製造装置向け機械部品

- ☑受注、販売… 前月比は、販売、受注ともに業者により増減分かれる。先行きは減少を見込むという。
- ☑景況感…… 当月の景況感は業者により見方が分かれる。先行きはやや悪化～横ばい。

〔企業からのコメント〕

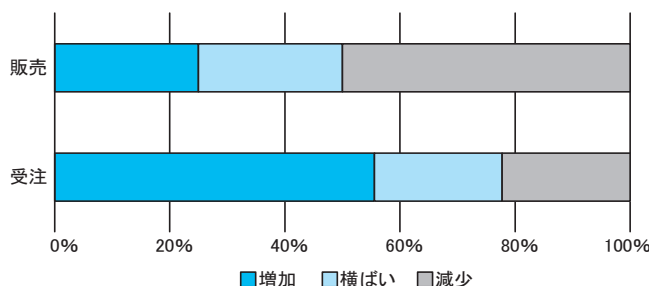
- ・「単月では微増傾向にあるが、平均値ではおおむね横ばいの状態となっている。向こう1～2か月は7月比で平均1割程度減少で推移する予定。需要が不安定となっており、予測が付けにくい状況」「当社の売上は前年比で増加しているが、前々年、前年と売上が減少していたため、それを踏まえると決して良いとは言えない。依然として先行きは不透明」
- ・「半導体業界は2025年は横ばいの予測となっている。また、2026年も横ばい傾向の情報となっている。主要顧客の1社は売上高を大きく下方修正している。また、後工程の主要顧客は増収減益となっているが比較的ポジティブな状況となっている。8月から米国関税が発動され、様々な分野に影響が出てくると予想されており、非常に不安定な需要期に入る見込み」「取引先から2025～2026年の設備投資が減少する旨を示唆されている。好調であったAIも最近は活用の方が追いつかず、予想よりも需要が減少し、在庫が過多になっているのではないかと話を聞いた」
- ・今後、人手不足を背景に、主要取引先も自動化を進めている。自動化コンセプトの提案や実現を達成できるサプライヤが今後生き残り、逆に提案できない場合は淘汰される可能性がある。

飯伊地区景況DI（製造業）

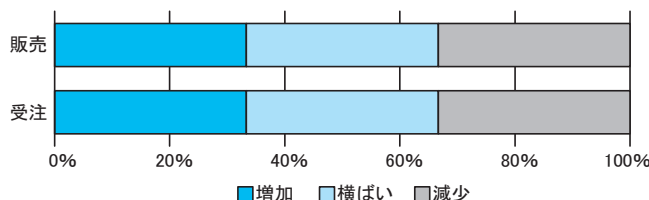


【DI（ディフュージョン・インデックス）】とは…
景気に関する投票を指数化したもので、全体の回答数を分母、良い、やや良いとの回答数を分子にした割合から、全体の回答数を分母、悪い、やや悪いとした回答数を分子にした割合を引いた数値。
「先月と比べて景気が良い」との回答が多ければプラス、「先月と比べて景気が悪い」との回答が多ければマイナスとなる。

電気・精密・光学向け部品前月比回答割合



半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合

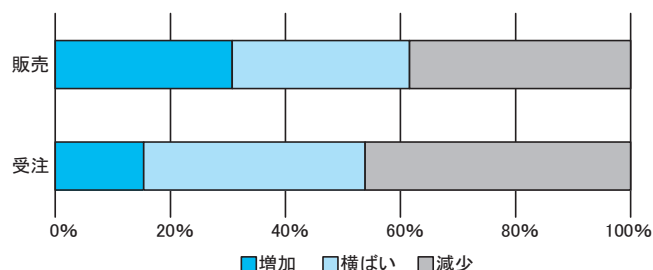


●産業機器、医療機器向け等機械部品

- ☑受注、販売… 販売、受注ともに前月比は業者により増減分かれるが、受注は減少の声がやや多い。先行きについても業者により増減分かれ、増加見込みと減少見込みの声が拮抗している。

- ☑景 況 感…… 当月、先行きとも業者により見方が分かれるが、横ばいとの声が多い。

産業機器、医療機器向け部品前月比回答割合



[企業からのコメント]

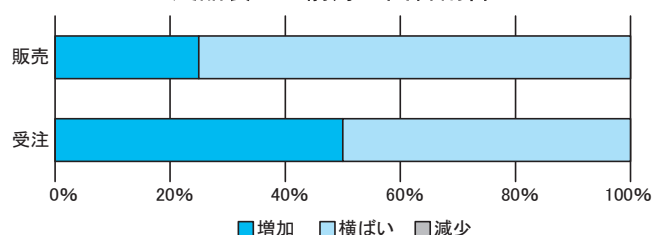
- ・「航空機・防衛関連部品は好調であるが、半導体製造装置、医療関係部品が急激に減少した」「景気低迷に伴う受注量の減少が続いている」「中京方面で一部関税の影響により案件がストップした事例も」
- ・「関税の見通しは見えてきたかに思えるが、各客先はまだ動きが変化する状況にない」「トランプ関税の影響は今のところ感じられないが、状況を静観している」「売上のいい会社と悪い会社が、明確に分かれてきていると思う」
- ・「高卒採用の枠はあったが厳しそう。今のところ人材不足はないが、将来に不安は残る」「今後は、先を見込んで計画的に進めないといけなく感じる。厳しい状況は変わらない」

●食品製造（漬物、半生菓子、菓子原料、その他食品）

- ☑売 上…… 菓子の前月比は横ばい～やや増加、先行きはやや減少～横ばい。食品全体では当月は横ばいの声が多く、先行きは業者により増減分かれる。

- ☑景 況 感… 当月、先行きともに横ばいとの声が多い。先行きは、一部に好転を見込む声も。

食品製造 前月比回答割合



[企業からのコメント]

- ・「扱う商品群や販売店により生産量や取扱量の明暗が分かれ、低価格化がより堅調になってきた」「連休需要が盛んになっている。業務用品の動きが良い」
- ・「どのメーカーも、原料の高騰や原料不足により事業増進が難しい局面となっている様子」「大幅な価格改定を実施した同業もあるが、売れ行きに苦慮しており、売価を抑えた商品開発の依頼が多い」
- ・「売値の価格改定を都度実施しているが、毎月価格改定する事も困難である。最低賃金の上昇を抑える中、更なる省人化に舵を切るしかない。」

●水引製品、冠婚葬祭・祝儀用品、正月・盆用品

- ☑売 上… 前月比は業者により増減分かれ、先行きはやや増加～増加。景況感はやや悪化～横ばいで、次月以降は横ばい～やや好転。

[企業からのコメント]

- ・「7月の売上は先月に続いて横ばいで推移しているが、現状は厳しい。利益のある商品は順調に販売できている」「最低賃金の大幅改正により、今後の価格改正が避けられない」
- ・「人口減と少子化は現実的に増加に転じることはない。各社がそれぞれに取り組み模索している状況で、結果が良ければいいが、費用が問題。」

●上記以外の製造業

- ☑建築用金属製品… 販売は前月比は増加、前年比では減少、先行きは横ばいを見込む。景況感は当月、先行きとも横ばいという。

- ☑自動車向け部品… 販売は前月比横ばい～やや増加、先行きは横ばいを見込むという。当月の景況感については、一部にやや好転との声も。

- ☑印 刷…………… 販売は前月比減少、前年比はやや減少。先行きについても減少を見込むという。

[企業からのコメント]

- ・「現在はどの地域も新規物件が少ない。次の仕事のピークまでに、なるべく多く仕事を受注できるよう、機械設備や人材を含めて会社の体力の底上げを図っておきたい。」
- ・「需要動向が不透明で、今後の推移が読めない。コロナが終焉して経済は元に戻ると思ったが、政治の不安定で経済不安になっている。」
- ・「10月1日から板紙用紙の値上げ10%以上という通達が来ているが、その他一般印刷物の値上げを製紙会社の1社が言い出したとのこと。今後、他の製紙会社が同様に値上げを表明してくると、また一般印刷用紙の値上げの可能性が出てきちゃう。」

建設業

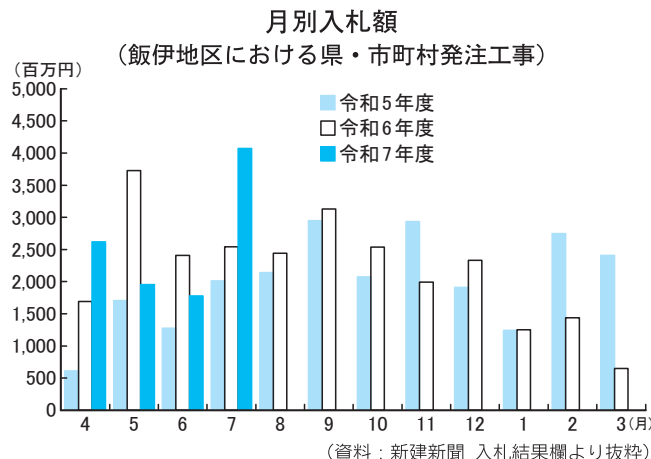
官公需

概況 7月の公共工事入札金額は前年比で60.3%増加、一昨年比では102.6%増加

✓公共工事入札額… 当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、40.7億円（8月15日調査時点）。前年に比べ60.3%増加、2年前との比較では102.6%の増加。

✓景況感…………… 当月は横ばい～やや好転で、悪化との声はなかった。先行きは横ばい見込みの声が多いが、一部には悪化を見込むとの声も聞かれた。

✓原材料価格…………… 当月は横ばいとの声が多い。先行きは横ばい～やや上昇で、上昇を見込む声が多く聞かれた。



[企業からのコメント]

- ・「公共工事の発注が進んできており、受注確保に取り組んでいる」「新年度の工事入札等の動きが出てきた」「工事高は前年より増加しているが、期の節目で受注が伸びていない」
- ・燃料等の単価は下がっているが、全体としては材料の価格は変わっていないと感じる。
- ・「人員対策として、ハローワークへの届け出は実施。今後は世代交代に向けて準備していく」「技術者が不足しており、営業等を含めて通年で募集をかけている」「施工社員の不足が続いている」「人員の不足が慢性化しており、今後も不足解消の見通しが立たない」「求人活動は継続して実施する」

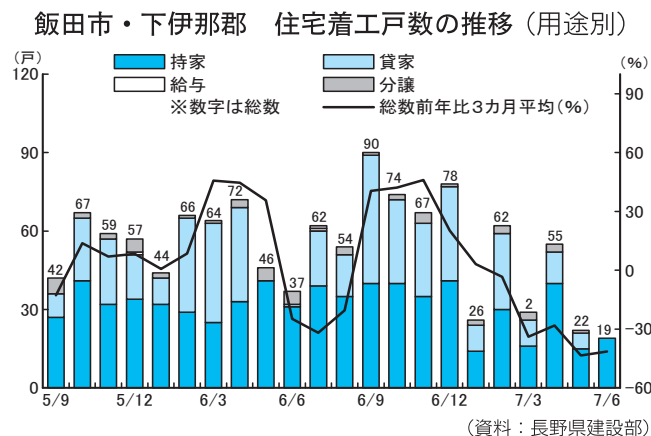
民需

概況 令和7年6月の住宅着工戸数は19戸で前年比49%減少。
持家が減少、貸家と分譲はゼロとなり、6か月連続で前年比マイナス

✓住宅着工戸数… 当地区の6月の住宅着工戸数は19戸。前月比14%減、前年比では49%減。持家の戸数は19件で前年（31件）から減少。貸家は0件で前年（1件）から減少、分譲も0件で、前年（5件）から減少。

✓景況感…………… 当月は横ばいとの声が多数を占める。先行きはやや悪化～横ばいで、好転を見込むとの声はなかった。

✓原材料価格…………… 当月は横ばい～やや上昇。先行きについても同様で、下降との声はない。



[企業からのコメント]

- ・新築住宅の話が少ないように感じる。

建設資材等

概況 7月の生コンの売上は前年比、前年比ともに業者により増減分かれる。
骨材も前月比、前年比ともに業者により増減分かれる

✓生コン … 売上は前月比、前年比ともに業者により増減分かれるが、増加の声がやや多い。

✓骨 材 … 売上は前月比、前年比ともに業者により増減分かれる。

[企業からのコメント]

- ・7月の主な出荷はリニア関連工事、三遠南信工事、工場建設、発電所工事、砂防工事等に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は当月出荷量の3割強。
- ・「リニア工事は区によって動きがまちまちだが、この先に向けては上昇が予定されている。一般公共工事については、例年と比べて発注が大きく遅れている感がある。入札結果の情報誌にボチボチ出てきているものの、例年より少ない」「飯田市内はリニア関連工事が動き出してきていることもあり、出荷量があったようである。また、秋口にはもっと動きが活発になってくるとの話を聞いている」「砂利業界全体としては、売上が伸びた月となった」
- ・いろいろな物の値上がりがまだ続いており、今後も心配。

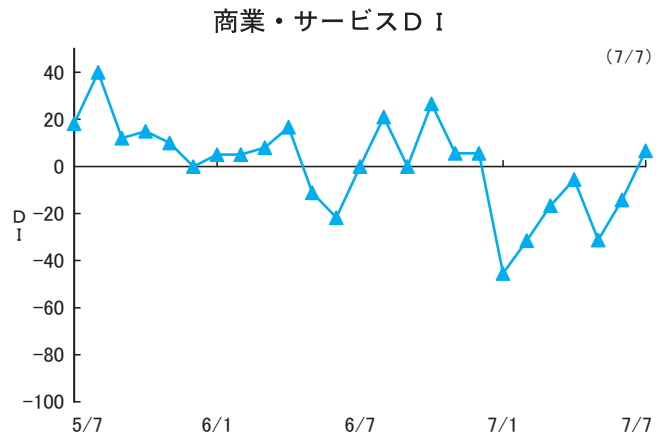
商業・サービス業

概況 景況DIは前月から改善しプラス圏に。飲食業で景況感好転との声が多い

当月の商業・サービス業の業況判断指数（DI）はプラス6.7で、前月から21.0ポイント上昇。

当月も前月同様に、全体では景況感横ばいとの声が多かったが、飲食業で景況感好転の声が複数聞かれ、指数はプラスに転じた。宿泊業では、夏休みシーズンを迎えて景況感が良くなったとの声がある一方、7月前半の低迷により景況感が悪化したとの声も聞かれた。また小売業でも一部に景況感好転の声があり、商品値上げによって売上は堅調に推移しているとのコメントもあった。

次月以降は飲食業、宿泊業を中心に好転を見込む声があり、状況を注視したい。



主な業種の動き

●小売業 概況 売上の前月比は横ばい～増加。景況感は横ばい～好転で、悪化との声はない

☑売上 … 前月比は横ばい～増加。前年比ではやや増加との声が多い。

☑景況感 … 当月は横ばい～好転で、悪化との声はない。先行きは横ばい～やや好転。

〔企業からのコメント〕

- ・「国内米は相変わらず不足気味。米国カリフォルニア米は好調に推移しており、味もまずまずという状況」「備蓄米やそれに関連した製品は単価が安く、売上も好調」
- ・値上がりの影響を受けて、前年比での売上は増加している。ただ仕入単価も上昇しており、今後も上がり続ける見込み。

●卸売業 概況 売上の前月比は業者により増減分かれる。景況感は横ばいで、先行きはやや悪化～横ばい

☑売上 … 青果、食品は前月比やや増加。建築資材、食肉はやや減少。

〔企業からのコメント〕

- ・野菜は、主力のキュウリは入荷増で、価格は安い。キャベツ、人参、レタスなどが入荷が多く、売上を伸ばした。野菜全体では、昨年がかなりの高値で取引されていたため、価格は昨年を下回ったが売上は入荷増の影響で伸びた。果実は、7月主力の桃は入荷減で価格は高くなった。スイカは入荷は昨年並みも価格は高く売上は増加した。メロンや輸入果実全般が昨年比で販売好調となり、果実全体では入荷量は若干減少も価格高によって売上増となった。
- ・景気動向に大きな変化は感じないが、高齢者の方の消費が減っていると感じる。
- ・松本市の食肉処理施設が廃止となるとの話が出て、畜産農家への影響が懸念される。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 売上の前月比は、飲食業、宿泊業ともに業者により増減分かれるが、増加との声やや多い。景況感も業者により見方が分かれるが、飲食業では好転との声が多い

☑売上 … 飲食業、宿泊業の前月比は業者により増減分かれるが、増加との声やや多い。運輸業は前月比やや増加。

〔企業からのコメント〕

- ・「7月にしては宴会が多くあり、売上は前月比、前年比とも増加した。夜暑いので生ビールが売れ、客単価が上昇。ただ、少人数での来店が多く、夜の帰りも早い」「仕入に関して、同じ値段でも量が少なくなった。米の値段は高止まりしており、調味料もますます値上がりする」
- ・「7月の売上は増加したが、集客に対する課題があると感じる」「7月中旬頃までの予約量や人流状況が非常に悪く、それに従って売上もやや減少した」「7月の売上は伸びたが、人員が特定の職で不足している。今後は高齢化が進み、ますます人員が不足する見込み」「7月下旬～8月は昼神温泉のトップシーズンであり、夏休み客を一組でも多く受け入れたい」「諸物価が値上げとなっても販売単価は上げられず、結果的に利益が圧迫されている」
- ・コロナ前との売上対比は8割弱で、タクシー運行回数は7割弱。今後においても物価高騰、賃金アップ等、先行き不安のある利用者の行動を注視していく必要がある。利用閑散時間帯や深夜営業を維持するには、ベースとなる運賃をアップしていかないとならないのではないか。
- ・今後インフレ基調を伴う実質賃金増加が、消費にもたらす効果は堅調と予測。特に高単価消費層にその傾向がみられる。一方、宿泊消費の平均価格層は減退している。ターゲットの絞り込みとそのエンゲージメント強化に精力的な取り組みが必要。

「第二次 リニア中央新幹線開通に係る調査報告書」を発表 ～ リニア開業が延期となった今、取り組むべきこととは～

飯田信用金庫では平成28年に、当金庫創立90周年を機として信用金庫のセントラルバンク信金中央金庫と連携してリニア時代を迎える飯田下伊那地域に関する調査を行い、「リニア中央新幹線開通に係る調査報告書」（以下、一次報告書）を公表した。

その後、リニア工事が本格的に開始されたところ、令和6年3月にリニア中央新幹線の開業延期が発表された。開業までは最低でも10年以上かかるとされる中、地域の今後のあり方についてあらためて考える局面との思いから、一次報告書以降のリニア及び関連事業の進捗や当地域産業経済の推移、街づくりについて調査を実施しとりまとめた第二次報告書（以下、報告書）を7月8日に公表した。本稿では、その内容を紹介する。

リニア開業までの期間は、人口減少が急速に進む当地域が持続可能な社会を作っていくための大変重要な期間であり、また取り組み如何によって地域の未来が大きく変わる、まさに地域の転換点となりうる期間であると考え。この報告書が一つのきっかけとなって、当地域の未来に向けて共に議論し、共に行動する契機となれば幸いである。

（本報告書データは、飯田信用金庫ホームページ上に掲載しております。冊子をご希望の方は飯田信用金庫しんきん南信州地域研究所（TEL：0265-53-5811）へご連絡ください）

第二次
リニア中央新幹線開通に係る調査
報告書

飯田信用金庫
信金中央金庫



リニア報告書報告会（令和7年7月8日）

●【I章】リニア中央新幹線の現状と飯伊地域

・リニア中央新幹線 関連年表

リニアに関する国・県・JR東海の動き、長野県内の動き、当地域の対応を年表形式で記載。

・リニア中央新幹線 工区別状況一覧表

リニア名古屋駅からリニア品川駅までの工区別に、工事の概要と進捗状況等について、一覧表を掲載。

1. リニア中央新幹線および関連事業の概要

昨年明らかとなったリニア工事の延期確定について、遅れの要因を分析。工事着工に向けたリニア中央新幹線の工事着手までの地元地域との合意形成に時間を要したことを主因に、長野県内工区別の工事遅れの要因

を整理した。

また、リニア工事に影響を与えた事項として、静岡県内の県とJR東海との協議状況やトンネル工事施工の問題（NATM・シールド工法）、盛り土規制などがある。

リニア関連工事として、リニア駅周辺整備、関連道路改良、座光寺スマートインターの状況についてまとめた。

2. リニア駅と二次交通 乗換新駅の見直し

リニア駅とJR飯田線乗換駅との接続について、乗換新駅設置の見直しがあり、替わりにリニア駅とのアクセスに係るモビリティ実証実験が行われる。

3. リニア各駅・地域の工事の状況

品川駅から名古屋駅の各駅（長野県駅除く）の工事および周辺工事の状況。進捗状況は、山梨県駅を除き工事が本格化している。



リニア釜無川橋梁工事現場（山梨県中央市、報告書80頁）

●【Ⅱ章】飯伊地域の産業・経済構造

1. 飯伊地域の人口の状況

飯伊地域の人口の状況（年齢別人口、合計特殊出生率など）、上伊那地域とを比較しながら一次調査以降の飯伊地域の状況を見る。

リニア時代を考える上で懸念されるのは、飯伊地域の人口減少が進んでいること、高齢化が進展していることに加えて、子どもの数も減少傾向にある点である。一次報告書において飯伊地域は「子どもを産み育てやすい地域」と説明しており、その傾向はまだ継続しているものの、数値的には長野県や全国の平均値に近づいてきている（報告書85～86頁）。

2. 県下各市町の人口の状況

県下主要市町の転入・転出数の状況を、コロナ時（令和2年）とコロナ後（令和5年）で比較して見ている。各市町で特徴が見られる。

3. 飯田市の特徴の背景

飯田市の60歳以上の社会増減と生産年齢人口比率との関係および外国人人口の推移について説明。

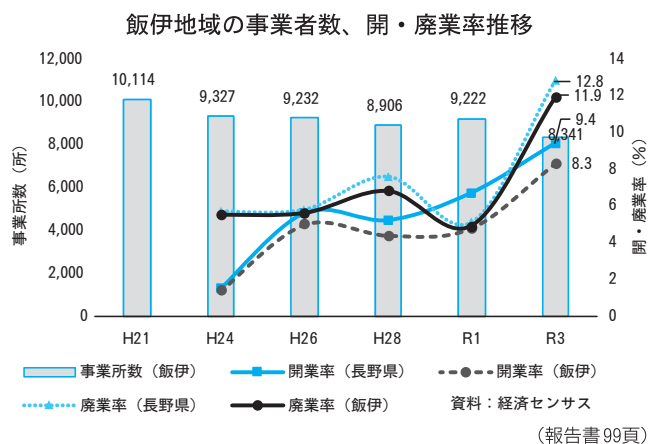
4. 飯伊地域の人口に関するまとめ

まとめとして、リニア開通時までの産業振興、地域振興を考えていくうえで必要となる視点として、「学卒者の回帰率向上」「外国人人材のさらなる受け入れ」「DXの活用による産業の効率化」を挙げている。

5. 飯伊地域の経済構造

一次報告書以後の、業種ごとの景況の動向、開・廃業率の推移、事業者数・従業者数の変化、製造品出荷額等の推移、観光の状況について、図表および各種統計を用いて説明。

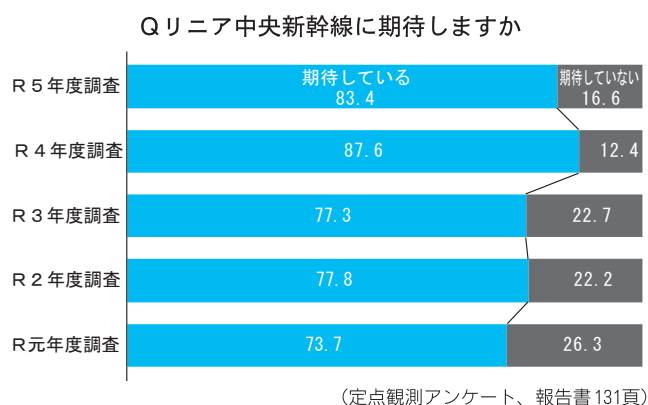
後段では「未来カルテ2050」を用いた当地域の就業者人口について考察を試みている。



●【Ⅲ章】飯伊地域の意識

1. リニアアンケート調査の経緯と調査内容

平成27年から継続して実施してきたリニアに関するアンケート調査の経緯をまとめるとともに、令和元年に実施した「リニア沿線金庫共同アンケート」（リニア沿線地域の、山梨県の甲府信用金庫・山梨信用金庫、岐阜県の東濃信用金庫と当金庫による共同アンケート）の結果について説明。また令和2年度～5年度にかけて実施した「定点観測アンケート」では、コロナ禍を経て当地域住民の意識の変化を見る。近年で「リニア工事の遅れ」が当地域の意識に反映している。



（定点観測アンケート、報告書131頁）

共同アンケートから見える当地域の特徴として、「他地域に比べリニアおよび関連事項についての認知度、関心度が高い」「マイナスの効果についても他地域より厳しく認識されている」「地域の将来やあり方についても、他地域よりも真剣に厳しめに考えられている」。(報告書129頁)。

●【Ⅳ章】新幹線時代を迎えるための視点

1. 新型コロナウイルス下の鉄道事業と新幹線

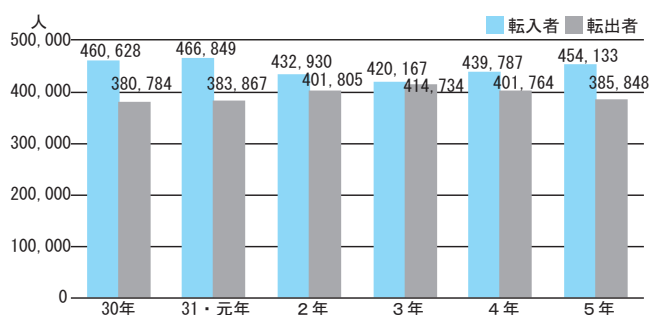
令和2年からのコロナ下におけるJR東海・JR東日本の新幹線の旅客数・旅客運賃収入の状況およびコロナ後の回復状況。

2. コロナ下・アフターコロナ下の人口移動と新幹線

コロナ下で発現した東京都から地方への人口流出について、長野県を含む関東甲信越および東海・北陸地域の市町村別に、令和2年の移動状況と令和5年の東京都への再流入局面での移動状況を比較。コロナ後も東京都からの人口流入が起きている自治体の特徴を考察する。

コロナ後も東京都からの人口流入が起きるには、「・公共交通機関若しくは主要道路で通勤通学の利便性が確保。・自市町村内に有力事業所(雇用の場)が存する。・東京圏から一定期間でアクセスする交通ネットワークがある」(報告書148頁)。

東京都 年別の他県転入・転出者推移



(報告書138頁)

3. 新幹線通勤の状況

北陸新幹線沿線地域の自治体について、新幹線による通勤通学の推進策をまとめる。推進策は各自治体により特徴がある。

4. 観光利用・地域間交流の状況

北海道新幹線沿線地域における観光利用と地域間交流の取り組みを紹介。

5. リニア新幹線と世界へのゲートウェイ

リニアによって、飯伊地域が長野県内から各国際空港へ最も近くなること。併せて各空港からの海外出国の状況を概述。

6. 国土政策と新幹線

令和5年閣議決定の「第三次国土形成計画」の紹介。本計画においてはリニア中央新幹線が全ての基軸となる。

7. 直近の関係府省の動向

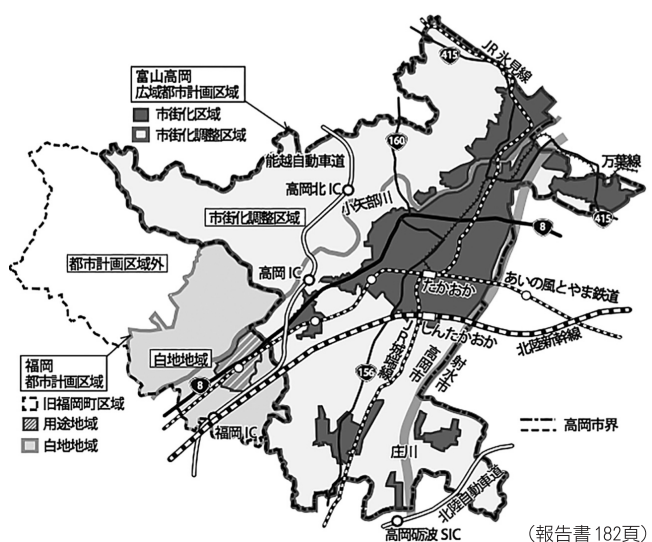
リニア中間駅予定地をはじめとした新たな圏域の活性化方策について検討する関係府省等会議の概要。

●【Ⅴ章】新幹線とまちづくり

1. 先行新幹線駅地域の特徴と対応

新幹線が既に開通している北陸新幹線の駅地域(佐久市・佐久平駅、上田市・上田駅、高岡市・新高岡駅)の現状と、各地域の特徴的な取り組み。

高岡市都市計画 土地利用規制の状況



2. リニア沿線地域の動向

各リニア沿線地域(品川駅、神奈川県駅、山梨県駅、岐阜県駅、名古屋駅)における現状の取り組みおよび将来の構想等。

3. 長野県駅のまちづくり

長野県駅に関連した当地域の産業振興の構想に関する記述のほか、飯田市のリニア駅周辺の土地利用の状況。

景観のあり方の検討イメージ



リニアの整備効果を地域振興に活かすビジョン（案）
（飯田市 HP より、報告書 205頁）

●【Ⅵ章】飯田信用金庫の取り組み

～しんきんからの地域への提言～

1. 地域の課題 ～提言における前提～

リニア開通が最短でも令和16年以降となることを踏まえ、飯伊地域の人口減少およびそれに伴う人手不足の顕在化が大きな課題であるとの認識を示す。また当地域の家族態様においても、かつての3世代以上で子育てする当地域の強みが失われつつあることにも触れている。一方で、当地域の資源について、一次報告書以降でも新たな資源の創出が行われていることに着目している。

それらを踏まえ、開業が延期となったリニアについて官民一体で知恵を出し、地域が納得できるまちづくりの模索が必要である。

2. 今後取り組むべきこと ～地域への提言～

新たな視点を踏まえ、以下の5点を提言。

- ・リニア開通までの地域ブランディングの推進
- ・学卒者の回帰率向上、通勤・通学圏拡大を見据えた移住・定住に向けた取り組み
- ・DXの徹底活用による地域の利便性向上
- ・「リニアのあるまちづくり」のバージョンアップ
- ・ウェルビーイングの高い地域づくり

3. 飯田信用金庫の具体的施策

～これまで取り組んできたこと～

一次報告書以降に取り組んできた、当金庫の取り組みについて紹介。

4. 飯田信用金庫の具体的施策

～これから取り組んでいくこと～

当金庫が地域の皆さまと一緒に「地域の明るい未来をともにつくる」ために、取り組んでいく12項目について紹介。

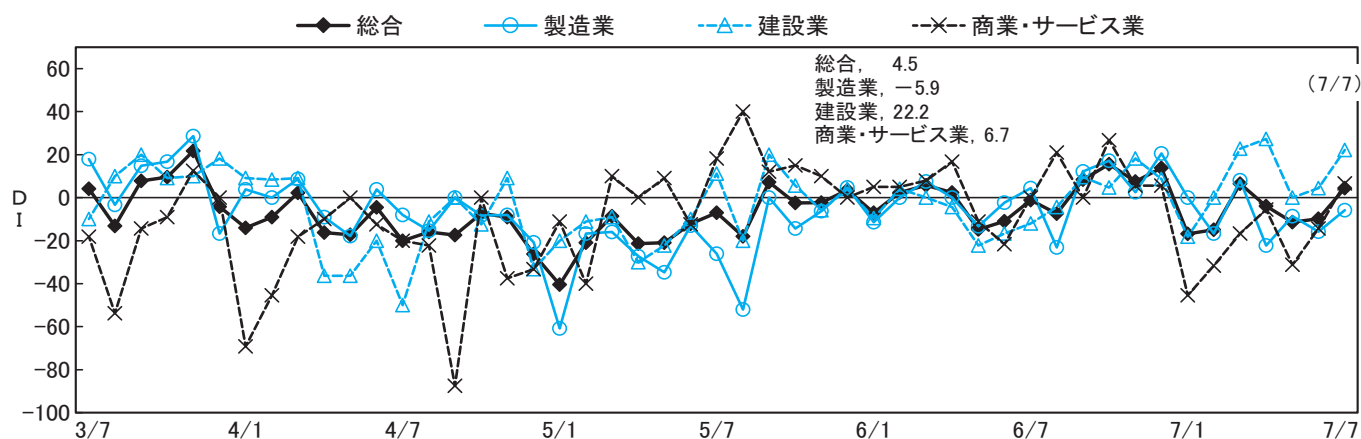
- ・リニア中央新幹線沿線地域、三遠南信地域、上伊那地域との連携強化
- ・地域内での観光面での連携支援推進
- ・高校生を中心とした若年層と、地域の大人・企業とつながる機会の創出
- ・ダイバーシティを尊重した職場環境の整備の実施、多様な人材の活躍推進
- ・企業・個人事業主に対する支援推進
- ・IT・DX・生成AI等を活用した顧客の利便性向上
- ・信州大学のグリーン水素製造に関する実証タウンに向けた積極的な関与
- ・ライフプランに関するあらゆる課題を解決する新たな相談拠点の設置
- ・当地域の自然環境、社会環境（天候、地価）の良さを発信
- ・地域資源のブランド化支援
- ・リニア駅周辺整備の取り組みに積極的に関与し、民間事業者の支援を実施
- ・「コミュニケーションプラットフォーム」のハブ機能を担うべく、地域の課題解決支援に取り組む

リニア開業は延期となり、いまだ開業時期も不透明な状況ながら、リニアに関係する方々は異口同音に「開業までの期間を準備期間と捉え、前向きに取り組むを進めていく」決意を述べている。飯伊地域においても、リニア中央新幹線が大きなチャンスであることは変わらないとの思いを持って今後のまちづくりに向き合う必要があると感じている（報告書あとがきより）。

（文責：しんきん南信州地域研究所 竹内 文人）

飯伊地区全産業景況 D I の推移

飯伊地区景況 D I (本誌調査)



飯伊地区主要経済指標

主 要 指 標		実 数	前 月 比	前年同月比	前々年同月比	令和元年同月比
倒 産 件 数 (負債総額1千万円以上)	県 内	6 件	(前月 6 件)	(前年同月 8 件)	(前々年同月 7 件)	(令和元年同月 5 件)
	飯 伊	0 件	(前月 1 件)	(前年同月 0 件)	(前々年同月 2 件)	(令和元年同月 0 件)
住 宅 着 工 戸 数 (飯田市、下伊那郡 総数) (6月)		19 戸	△ 13.6 %	△ 48.6 %	△ 83.6 %	△ 66.7 %
有効求人倍率 (パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内) (6月)		1.31 倍	(前月 1.28 倍)	(前年同月 1.33 倍)	(前々年同月 1.56 倍)	(令和元年同月 1.40 倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新 車	1,790 台	△ 9.2 %	△ 18.4 %	△ 15.6 %	△ 34.5 %
	中古車	701 台	△ 9.7 %	△ 9.8 %	0.1 %	△ 12.4 %
軽自動車新規登録台数 (全国軽自動車協会連合会) (6月)	新 車	4,012 台	20.1 %	13.2 %	12.0 %	△ 7.1 %
	中古車	1,195 台	△ 6.9 %	5.4 %	△ 3.6 %	12.8 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	105,194 台	10.7 %	5.6 %	4.2 %	△ 9.0 %
	出	104,303 台	9.0 %	3.1 %	0.7 %	△ 11.3 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	62,271 台	14.0 %	9.9 %	0.2 %	△ 21.3 %
	出	59,826 台	14.2 %	9.0 %	0.5 %	△ 21.1 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	14,542 台	40.3 %	1.4 %	△ 20.8 %	13.1 %
	出	12,797 台	26.0 %	22.4 %	△ 13.2 %	△ 3.3 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	54,140 台	12.1 %	2.6 %	4.4 %	32.6 %
	出	53,831 台	11.0 %	△ 3.0 %	2.0 %	34.5 %
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	49,148 台	7.8 %	11.4 %	19.9 %	— %
	出	49,999 台	7.0 %	11.0 %	28.2 %	— %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		128 件	△ 11.1 %	12.3 %	△ 2.3 %	△ 21.5 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		9 件	(前月 1 件)	(前年同月 10 件)	(前々年同月 1 件)	(令和元年同月 3 件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	22,493 人	13.5 %	6.3 %	8.8 %	△ 14.5 %
	飯田～名古屋	13,911 人	9.0 %	6.8 %	2.3 %	△ 24.2 %
	飯田～長野	4,622 人	△ 5.2 %	23.3 %	15.7 %	△ 50.9 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	19,096 人	13.2 %	6.2 %	10.6 %	△ 11.5 %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,023 人	0.8 %	△ 4.6 %	14.9 %	△ 19.9 %
	右回り	3,297 人	11.9 %	2.9 %	18.5 %	△ 9.0 %